

「障がいを理由とした差別と思われる事例」の募集結果(医療)分野

※ 府及び市町村における障がいを理由とした差別に係る相談として寄せられたものを含む。

通し 番号	内容
1	この夏、医院で入口で待たされた。暑かった。病院の先生にスロープつけてと依頼したら警察を呼べと言っていた。
2	精神科病院で、夜寝ている時に男性看護師にキスをされ、翌朝、女性の看護師に訴えたが、病院にもみ消された。
3	他科受診の際、3割負担は厳しい。精神科の薬を飲んでいると身体にも様々な病気を併発しやすい。医療にかかりたくてもかかれない。
4	病院薬剤の方が、チラチラと見ながら話している様子があった。
5	精神科の診療継続を拒否された。病気が「パーソナリティ障害、人格障害」とわかると、「病気ではなく性格なので、治療はできない」と、診療の継続を拒否されました。(〇〇市の病院です)
6	入院中、免許の更新に行こうとしたら看護部長が「本当はダメなのに…」と言った。
7	娘の診察の為に家の近くの産婦人科に行きましたが、ベッドの上に一人で乗る事が出来ないで診察できないと断られ、(看護師に本当に冷たく)別の大きな病院に行きました。又、その病院はとっても親切で先生、看護師さんと本当によく見て下さいました。こんなにも対応が違うものかと思いました。
8	歯医者予約を取る時、「車椅子に乗っている者です」と言いますと態度が変わりエレベーターのある所だったのにダメでした。
9	病院で順番が来て呼び出しがあっても、分からないままに飛び越されて、遅いと思ってたずねると飛ばされていた事がよくあった。受付で聴こえないと言っている、耳マークのカードをつけていても、途中で人が変わって引継ができていないことがよくある。 聴覚障害者が同等に扱われていないと憤慨したことが度々あった。
10	(医療(いりょう)機関(きかん)で)・私(わたし)は、整形(せいけい)外科(げか)の手術(しゅじゅつ)の前(まえ)に、看護師(かんごし)から「ついでに子宮(しきゅう)を取(と)ったら楽(らく)になるで」と言(い)われて、それは差別(さべつ)だと思(おも)って、腹(はら)が立(た)って。それで、婦長(ふちょう)に言(い)ったら、婦長(ふちょう)から看護師(かんごし)が怒(おこ)られ、その後(ご)言(い)った看護師(かんごし)は私(わたし)を無視(むし)した。
11	(医療(いりょう)機関(きかん)で)・精神(せいしん)障害(しょうがい)で、23歳(さい)のとき20年前(ねんまえ)に精神(せいしん)病院(びょういん)に入院(にゅういん)して薬(くすり)を飲(の)んでいる。飲(の)まないと、幻聴(げんちょう)や妄想(もうそう)。薬(くすり)の副作用(ふくさよう)でも苦(くる)んでいる。入院(にゅういん)していたとき、差別(さべつ)かどうかかわからんが、看護師(かんごし)がすぐ子供(こども)扱(あつか)いしていた。100人(にん)くらい病棟(びょうどう)の同(おな)じ階(かい)にいる。その中(なか)で、おやつ(おやつ)の時間(じかん)とか体重(たいじゅう)測定(そくてい)の時間(じかん)とか。その時間(じかん)に水(みず)をがばがば飲(の)む人もいた。看護師(かんごし)が「あんたらは、薬(くすり)を飲(の)まなかったら、一般(いっぱん)のことができない」とか、鍵(かぎ)を看護師(かんごし)が管理(かんり)していた。今(いま)、地域(ちいき)で生活(せいかつ)していると、看護師(かんごし)が言(い)っていたことは「それは違(ちが)う」と思(おも)える。

12	<p>(医療(いりょう)機関(きかん)で・私(わたし)の場合(ばあい)、病院(びょういん)で。小(ちい)さいころから何回(なんかい)も手術(しゅじゅつ)(障害(しょうがい)の「治療(ちりょう)」という目的(もくてき)で)。最初(さいしょ)、実験(じっけん)形式(けいしき)で受(う)けさせられているような感(かん)じ。初(はじめて)の手術(しゅじゅつ)を「私(わたし)やったらえやろ」と思(おも)ってたのか。説明(せつめい)のしかたがうまくいってなくて、説明(せつめい)をちゃんと聞(き)けてないうちに、実験(じっけん)の手術(しゅじゅつ)を2回(かい)くらい。体(からだ)のあちこちが痛(いた)くなったりする。そのあとは、「やめた方(ほう)がいい」と。それを聞(き)かされたのが20年(ねん)くらい前(まえ)。今(いま)考(かん)がえたらぞっとして怖(こわ)い。小(ちい)さいときは先生(せんせい)の言(い)いなりしかない。</p>
13	<p>子どもは障(しょう)がいを持っていて、医療(いりょう)の病院(びょういん)とかに行(い)っても、暴(あや)れたり泣(な)いたり大(お)声(こゑ)を出(で)したりすると、次(つぎ)からもう来(こ)ないでくださいと。子どもが5歳(ごさい)の時に家(いへ)の近(き)くの病院(びょういん)とかに連(つ)れて行(い)っても、1回(かい)は受(う)け入れをしてくれ(くれ)るけど、2回(かい)目(め)からはだめと言(い)い続け(つづ)けられ、何(なに)件(けん)も病院(びょういん)がだめになっ(な)ったりしてきま(き)ました。病院(びょういん)をこ(こ)ろこ(こ)ろ変(か)えていま(いま)した。す(す)ごくたいへん(へん)でした。</p>
14	<p>小さな医療(いりょう)受診(じゆん)においてインフルエンザ(インフルエンザ)の予(よ)防(ぼう)接(けつ)種(しゆ)さえも拒(き)否(ひ)されること(こと)がある。性格(せいかく)は大人(おとな)しい方(かた)である。〇〇セン(セン)ター(ター)でのこと。〇〇セン(セン)ター(ター)受診(じゆん)に必要(ひつや)な医(い)師(し)の紹(しやう)介(かい)状(じやう)・予(よ)約(やく)ま(ま)でして利(り)用(よう)して(して)いる事(じ)業(ぎやう)所(じよ)2箇(か)所(じよ)の協(きやう)力(りき)を(を)経(けい)て受診(じゆん)に辿(たど)り着(き)いた。以(い)下(げ)の理(り)由(ゆう)で検(けん)査(さ)及(およ)び切(き)に希(き)望(ぼう)した点(てん)滴(てき)を(を)し(し)て(て)もら(もら)え(え)ず(ず)帰(か)宅(たく)。さら(さら)に悪(あく)化(か)して衰(すい)弱(じやく)、4日(よっ)後(ご)、救(きう)急(きつ)搬(はん)送(そう)され(され)るとき(とき)は体(たい)重(じゆう)は24キ(キ)ロ(ロ)に。その日(ひ)に点(てん)滴(てき)を(を)し(し)て(て)い(い)た(た)だ(だ)け(け)に(に)ば(ば)と、医(い)療(りょう)か(か)ら優(ゆう)先(せん)順(じゆん)位(い)として、生(せい)命(めい)の危(き)機(けい)に(に)さら(さら)され(され)やす(やす)い現(げん)実(じつ)を(を)知(し)る。</p> <p>◎看護(かんご)師(し)が(が)い(い)ない。◎病(びやう)室(しつ)が(が)ない。◎対(たい)応(おう)が(が)でき(き)ない。◎日(にっ)帰(か)りの点(てん)滴(てき)は(は)この病(びょう)院(いん)で(で)は(は)行(い)っ(っ)て(て)い(い)ない。</p> <p>◎ま(ま)だ、高(たか)齢(れい)者(者)の(の)方(かた)が(が)抑(おさ)えて(て)でも(でも)治(ち)療(りょう)は(は)し(し)やす(やす)いと。◎「検(けん)査(さ)を(を)し(し)ても(も)ね。」と、本(ほん)人(にん)を(を)前(まへ)に(に)言(い)われ(れ)る。</p> <p>◎「点(てん)滴(てき)だ(だ)け(け)なら(ら)ど(ど)っ(っ)か(か)そ(そ)の(の)辺(へん)の(の)病(びょう)院(いん)で(で)し(し)て(て)もら(もら)え(え)ば(ば)い(い)い。」</p> <p>往(わう)診(しん)医(い)を(を)探(た)す(す)の(の)に(に)も(も)一(いち)苦(く)勞(らう)。来(き)て(て)い(い)た(た)だ(だ)け(け)た(た)の(の)は(は)主(しゅ)に(に)障(しょう)害(がい)者(者)の(の)医(い)療(りょう)に(に)携(たづ)ね(ね)る(る)整(せい)形(けい)外(がい)科(か)医(い)。</p> <p>体(たい)調(てう)不(ふ)良(りやう)の(の)原(げん)因(いん)が(が)わ(わ)か(か)ら(ら)ない(ない)け(け)れ(れ)ば(ば)先(ま)ず(ず)は(は)検(けん)査(さ)が(が)必(ひつ)要(よう)と(と)普(ふ)通(つう)は(は)思(おも)う。</p> <p>以(い)前(ぜん)か(か)ら(ら)事(じ)前(ぜん)に(に)万(ま)が(が)一(いち)の(の)医(い)療(りょう)に(に)備(び)えて(て)行(ぎょう)政(せい)に(に)も(も)問(もん)い(い)合(あ)わ(わ)せ(せ)を(を)し(し)て(て)、そ(そ)れ(れ)に(に)従(したが)って(て)今(いま)〇〇セン(セン)ター(ター)に(に)受診(じゆん)を(を)希(き)望(ぼう)した(した)が(が)家(か)族(ぞく)として(して)出(で)来(こ)る(る)限(かぎ)りの(の)努(こ)力(りき)を(を)した(した)上(じやう)で(で)い(い)ざ(ざ)受診(じゆん)した(した)が(が)結(けつ)果(こ)は(は)あ(あ)り(り)に(に)も(も)哀(あ)れ(れ)で(で)あ(あ)った(た)。</p> <p>『応(おう)招(しょう)義(ぎ)務(む)』と(と)い(い)う(う)の(の)を(を)あ(あ)る(る)の(の)を(を)知(し)った(た)。『診(しん)察(さつ)治(ち)療(りょう)の(の)求(もと)が(が)あ(あ)った(た)場(ば)合(あ)い(い)に(に)は(は)、正(ただ)当(たう)な(な)事(じ)由(ゆう)が(が)な(な)け(け)れ(れ)ば(ば)、こ(こ)れ(れ)を(を)拒(き)ん(ん)で(で)は(は)な(な)ら(ら)ない(ない)』</p> <p>市(し)議(ぎ)に(に)も(も)相(さう)談(だん)し(し)て(て)み(み)た(た)が(が)そ(そ)う(う)い(い)った(た)こ(こ)と(と)あ(あ)り(り)え(え)ない(ない)と、言(い)っ(っ)て(て)お(お)ら(ら)れた(た)。調(てう)べ(べ)ると(と)は(は)言(い)っ(っ)て(て)い(い)た(た)だ(だ)い(い)た(た)が(が)、そ(そ)の(の)時(とき)は(は)そ(そ)う(う)す(す)る(る)こ(こ)と(と)で(で)さら(さら)に(に)医(い)療(りょう)を(を)受(う)け(け)に(に)く(く)す(す)る(る)の(の)で(で)は(は)と(と)不(ふ)安(あん)に(に)相(さう)談(だん)に(に)と(と)ど(ど)め(め)て(て)お(お)いた(た)。重(じゆう)度(ど)障(しょう)が(が)い(い)者(者)が(が)社(しゃ)会(かい)で(で)生(せい)き(き)る(る)こ(こ)と(と)は(は)家(か)族(ぞく)共(ども)、努(こ)力(りき)が(が)必(ひつ)要(よう)で(で)あ(あ)る(る)。</p> <p>重(じゆう)度(ど)知(ち)的(てき)障(しょう)害(がい)者(者)は(は)大(だい)き(き)な(な)病(びょう)院(いん)で(で)ない(ない)と(と)対(たい)応(おう)が(が)難(がた)しい(しい)と(と)言(い)われ(れ)て(て)いた(た)。</p> <p>想(さう)像(ざう)を(を)す(す)れ(れ)ば(ば)誰(たれ)で(で)も(も)わ(わ)か(か)る(る)はず(ず)。そ(そ)れ(れ)を(を)そ(そ)の(の)辺(へん)の(の)医(い)者(者)で(で)点(てん)滴(てき)し(し)て(て)もら(もら)え(え)ば(ば)言(い)う(う)が(が)「ど(ど)こ(こ)も(も)断(た)れ(れ)ま(ま)した(た)！、ど(ど)こ(こ)が(が)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)か(か)？！」何(なん)度(ど)も(も)言(い)った(た)。そ(そ)の(の)日(ひ)に(に)は(は)紹(しやう)介(かい)し(し)て(て)もら(もら)え(え)ず(ず)帰(か)宅(たく)。</p> <p>民(みん)間(かん)で(で)あ(あ)れば(ば)ま(ま)だ(だ)仕(し)方(かた)な(な)い(い)とも(とも)思(おも)える(る)が(が)高(たか)度(ど)医(い)療(りょう)の(の)技(ぎ)術(じゆつ)が(が)整(せい)った(た)はず(ず)の(の)公(こう)立(りつ)病(びょう)院(いん)で(で)、せ(せ)めて(て)こ(こ)う(う)い(い)った(た)こ(こ)と(と)の(の)ない(ない)よ(よ)う(う)早(はや)急(きつ)に(に)対(たい)応(おう)を(を)望(ぼう)む。〇〇セン(セン)ター(ター)HP (HP)で(で)調(てう)べ(べ)ると(と)ち(ち)その(の)医(い)師(し)は(は)〇〇セン(セン)ター(ター)の(の)副(ふ)院(いん)長(ちやう)だ(だ)った(た)。</p> <p>〇〇が(が)“困(こ)った(た)こ(こ)と(と)が(が)あ(あ)れば(ば)行(ぎょう)政(せい)に(に)相(さう)談(だん)を(を)！”と、テ(て)レ(れ)ビ(び)で(で)言(い)っ(っ)て(て)いた(た)が(が)、何(なん)度(ど)も(も)府(ふ)に(に)市(し)に(に)も(も)相(さう)談(だん)した(した)が(が)府(ふ)も(も)市(し)も(も)対(たい)応(おう)は(は)し(し)て(て)もら(もら)え(え)な(な)か(か)った(た)。今(いま)年(ねん)の(の)夏(なつ)、多(おほ)く(く)の(の)人(ひと)が(が)救(きう)急(きつ)搬(はん)送(そう)で(で)点(てん)滴(てき)を(を)受(う)け(け)ら(ら)れた(た)の(の)に(に)、残(のこ)さ(さ)れた(た)力(りき)を(を)ふ(ふ)り(り)し(し)ば(ば)ら(ら)せて(て)、〇〇セン(セン)ター(ター)に(に)行(い)った(た)の(の)に(に)家(か)に(に)帰(か)さ(さ)れ(れ)て(て)しま(しま)う(う)、理(り)不(ふ)尽(じん)で(で)あ(あ)る(る)。水(みづ)分(ぶん)補(ほ)給(きつ)は(は)生(せい)命(めい)の(の)危(き)機(けい)に(に)直(ち)結(けつ)す(す)る(る)。命(いのち)の(の)軽(けい)視(し)で(で)あ(あ)る(る)。</p>

15	子どもの出産時、自然分娩を希望していましたが、出産直前になって急に、産院側の都合で予定日より早い日程で計画分娩(誘発剤投与)を一方向的に勧められました。GW なので、スタッフが休みに入る前に産んでほしいとのことでした。確認すると、聞こえる他の妊婦さんには、そういう話がなかったとのこと。
16	私は「自傷他害の恐れ」で大学病院に強制入院させられたことがあります。以前に一度、大学病院に入院したことがあり重度の大学病院に入院は自分の為にならない事がわかっていたので、はっきりと拒否に意思表示をしたのですが親が裁判所から、書類をとってきてこちらの意思を無視して入院させた為、以後 10 年再帰不能で、社会人としての人生を奪われました。(心神喪失と言われる状態でも理非弁識でき意能力があることになります)
17	私は精神疾患で大学病院に入院しましたが、さらに嫌な思いをしました。1. 入院・退院時にカンファレンスが医局員全員にの前で教授よりあり、質問されますが満々の前で笑いものにされました。2. 「貴方はプライドが高いから治らない」と人格否定する医者がありました。3. 教授から「動物」呼ばわりされました。
18	私は精神障害者ですが、精神科以外の科を受診する時に、いつも「嫌な思い」をします。それは、他の障害(知的・身体)の人が受けられる医療助成を受けられないため、障害に起因する疾患なのに高額な医療費を負担しなければならないことです。障害年金の1/10~1/5 が医療費に消えており最低限度の文化的生活もできない状態です。
19	私は精神障害者です。精神科以外の科を受診する時に、いつも「嫌な思い」をします。それは薬の重複を避ける為に、今服用している薬名を言うと、どこで(何科で)処方されているか聞かれ精神科であることを言うと、次回受診時から「あなたは神経質だから」と、こちらの訴えをまともに聞かず、適切な診療も受けられません。(ちなみに、私の友人は私を「大らかな人」と確信しています。)
20	皮膚科の診療所に行った時、精神障害者の手帳を見せたら職員の人達が白い目で見てヒソヒソと何か喋っていた。(本人に差別を感じた事はないかと聞いたら話してくれました。)
21	病院の受付で不安なため色々質問する本人に、ひどく嫌な顔してヒソヒソと受付スタッフ同士で笑い、いつも本人は不愉快になって帰ってくる、まともに取り合ってくれないと言っている。
22	精神科入院中、適切な看護を受けられず困った。
23	他科入院中に医師・看護師に退院を促された結果他病院に通院し、加療した(一般病棟には入れてもらえず個室のみ入院可)
24	ふれあい広場バザーの品物を出して下さる・・・との事で受け取ると、長年〇〇病院の看護師さんをされていた人なのに、ポロ着を洗濯もしないまま「使えなかったら、捨ててもらって良いのです。」すべてポロとしか言いようがなく関係されてきた方なので、ショックが大きかった。
25	歯科医の継続診療を断られた。本人は生活保護です。抜歯の為の薬を失くして、もう一度薬を下さいと言ったところ継続診療はできないと言われました。これだから、精神障害の生活保護は難しいと言われました。以来、他の歯科医には行けない状態になっています。
26	精神科の薬の副作用で他科に受診する事が多い。その時の 3 割負担は収入のない当事者にとって、とてもしんどい。年老いた親の年金から出してもらうのも気遣う。他障害は助成あるのに、何故精神障害者にはないのか？差別と思われる。

27	(精神-医療)精神科病院の診察室又はクリニックでは、向精神薬の効能及び副作用の十分な説明なしで薬の処方・治療が行われている。説明を求めにくい雰囲気であり、本人の不安は多く、薬を中断し再発する大きな原因となっている。
28	〇〇市役所〇〇課が配布するチラシ「障害者医療助成利用のご案内」には以下のように書いてある。「障害者医療費助成制度は、身体障害及び知的障害をお持ちの方に対し、保険診療の自己負担分を助成することにより、安心して十分な治療を受けて頂き健康で幸せな生活を築いていただくことを目的としています」精神障害者は、この助成制度から長い間除外され、行政による精神障害者への差別が継続されてきました。
29	子供が調子の悪い時に、近くの内科医(子供同士、同級生であった)の自宅に自分の調子を訴えメモを投函した。次の日、内科医に怒鳴り込まれた。「精神障害者と住宅地にうろうろされるのは困る。ちゃんと病院に入院させるべきだ」と言われた。「我が家は自宅で子供を見る方針である」と言って断った。最近ではよく理解しているように思える。
30	精神-医療。風邪を引いたので近くの〇〇病院(〇〇市)に行った時、向精神薬を服用していることを告げると「精神分裂症か」「大声を出すのか」「暴れるのか」と言われた。悔しい思いで帰宅した。
31	精神-医療。息子が心臓発作を起こし、救急車で近くの〇〇市〇〇病院に運ばれたが、精神疾患のため入院を拒否された。母親もこの病院にかかり院長と知り合いであったため、2時間後にやっと入院させてもらうことになった。〇〇の精神科救急体制では、〇〇下この病院に運ばれるか解からない。しかし、母親と息子の二人で個室に閉じ込められた感じであった。8日間入院し検査を受けて、異常が認められなかったので精神病院、〇〇病院に転院した。
32	〇〇の障害者医療費助成で、身体障害者、知的障害者は医療費が、略(?)全額助成されるが精神障害者には精神疾患通院医療費のみでの助成でしかない。
33	娘は統合失調症です。大量服薬をし意識がもうろうとなりました。病院に電話した所、胃を洗浄してから来て下さいと言われました。救急車を呼んで向精神薬を飲んでいるという理由で、近くの病院に拒否されました。1時間近くかかって、やっと西淀川の病院に到着しました。後で、娘の飲んだ量は胃洗浄しなくても大丈夫で事なきを得ましたが、精神疾患という理由だけで、診察拒否されるのはこれからも不安でいっぱいです。
34	仕事で書類の提出等の仕事である病院を訪れた時、エレベーターを使用して病院の職員に、病人以外はエレベーターを使用してはいけないとひどく怒られた経験がある。内部障害者(人工透析)は、外見では健常者とほとんど判別ができないので、このような経験又は、これと似たような経験が多々あります。
35	入院時に看護師の方から羽交い絞めされ、髪を引っ張られた。
36	精神障がいがあります。不調になると、精神的に不安定になるばかりでなく、自立神経まで不調をきたし同時に精神科、内科、歯科、婦人科、泌尿器科と5診療料を受診するような事もあります。2~3診療科同時受診はよくある事で、医療費の負担は大変です。
37	病院で待っていたら、自分より後から来た人が次々呼ばれてなかなか順番が回ってこなかった。おかしいと思い看護師に確認したら、「〇〇さんは時間がかかるので後回しにしました」と言われた。
38	盲ろう者です。病院に一人で行きました。受付から会計までいろいろと協力してくれた人から、最後にこう言われました。「大変だから、今度来る時は手引きの人と一緒に来て下さいね。」
39	ハンセン病の後遺症で末梢神経マヒがあるので、手足の痛覚は麻痺しています。足や手にはたこができやすく、放っておくと奥の方に傷ができ、足底潰瘍など深刻な状況になります。自分でたこをまめに削って予防

	<p>できればいいのですが、手に麻痺があるのでうまくたこを削ることはできません。近所の医者に行って、たこを削って欲しいと言いましたが、そんなことは自分でやりなさいと言われました。ハンセン病歴を明かすことは、家族や近隣の人にも隠しているの、医者にもしていません。しかし、手に麻痺があることは、医者にもわかっていると思います。私達、ハンセン病回復者にとっては、たかが「たこ」とは思えないのです。</p>
40	<p>堺の病院に行ったときに白杖が見えていたのに時間を聞いても「そこに(時計が)あるでしょう」と言われた。障がい者に対してバカにしているのかと聞くと、「すいませんでした、目がきれいなので見えているのかと思った」と言われた。</p>
41	<p>視覚障がい者だが、65歳になったら通院は介護保険となっていますが院内も一人歩きできず不便。</p>
42	<p>視覚障がい者の入院時、病院内の付添を認めてほしい。家族に強要されることもあります。社会参加を個人負担なしで歩きたいので願います。</p>
43	<p>始めて行った病院で診察後診察結果を話してくれる時、医師が看護師に「付添いさんと呼んで」と言ったので、急いで「あの人はヘルパーで家族ではないので私に言ってほしい」と言ったが、「いや、一緒に聞いて下さい」と言われ、結局「私はヘルパーですので」というヘルパーさんの主張にかまわず医師は話をし、薬の飲み方についてもヘルパーさんに説明した。</p> <p>悪気はなかったと思うが、納得のいかない思いで聞いていた。次の受診時に、何か伝えたいことがあるときは直接言ってもらうようお願いし、その後は問題ない。</p>
44	<p>院内での介護がほしい。</p>
45	<p>病院に一人で行こうと思ったら、「付添がないと困ります」と言われて受診を断られた。</p>
46	<p>医療機関において、聴障者が利用しやすい、理解のある病院、医院が少なすぎる。検査、診察を受けるにあたって、受付とのコミュニケーション、順番待ちで呼ばれてもわからない。説明もわからない。看護師、医師との会話も不便で、非常に困る、筆談をいやがる看護師、医師が多い。</p>
47	<p>開業医へ診察を受けに行ったとき、最初に受付に「耳が不自由なので順番は手招きでお願いします、説明はすべて筆談でお願いします」とメモにはっきり書いて渡したのに、理解されず、ろくにメモも読まない。おかげで順番が来ても名前を呼ばれても聞こえないので、わからないし、医師や看護師は口頭で説明するので非常に困った。</p>
48	<p>職場の健康診断を受けるために職場が契約している病院に行ったところ、事前に聴覚障がいがある旨を伝えていたのに聞き流され、スタッフ全員への周知徹底を怠っていた。おかげで受付も検査もコミュニケーションが取れず、混乱して健診の進行がスムーズに進まなかった。順番待ちの時も名前を呼ばれてもわからなくて非常に困った。(聞こえない人の受け入れ体制が全くなっていない)</p> <p>受付でも「耳が聴こえない」旨、伝えると事前に知らされていない為、露骨に嫌な顔をされて非常に気分を害した。(不審者を見る目つきで大変不愉快であった。)</p>
49	<p>病院へ受診の予約をしたくてもFAX番号がわからず、ウェブサイトにもメールアドレスやメール送信の項目がなくて困った。</p> <p>「予約は電話で」とウェブサイトにもっているが聴障者は電話で予約できないので困る。</p>
50	<p>すべての医療機関には、障がい者対応マニュアルを配布して対応方法を身につけるよう義務づけて欲しい。障がい者が受診にきても対応できない病院、医院が多すぎる。</p>
51	<p>府内の病院で健診を申し込んだところ、聴障者の受け入れは不可能、医師との筆談にも応じられないと言わ</p>

	れて申込みを断られた。たいがいの病院は聴こえなくてもきちんと受け入れてくれるし、筆記もしてくれる。時代に逆行した対応だ。
52	整形クリニックで治療診断してもらい、今はこのままで手術しないで、もっと悪くなるまで様子を見る様に言われて一時納得した。「将来悪くなり手術の必要な時、病院を紹介していただけますか」と聞くと、「そんな障がい者が行く病院はない・・・」ショックでその後の言われたことも憶えてないくらいだった。
53	意識がなく救急車を呼んだが、搬送先の病院が決まらなかった。その時、親も救急車にのっていたが、「本人は話しが出来ますか」などの話があり、親がいるにもかかわらず、いい返事がもらえなかった。
54	大阪でのことではありませんが、校医が遠方であったため、近所の歯科で治療を受けたく、予約の電話を入れたところ断られました。どのくらいの治療ができるのか等の質問をされることもなく、どうして駄目なのかの説明もなかったので今もって、こんな事があってよいものかと思いました。次の歯科では、転居前までの歯科治療について聞かれ、乳歯の抜歯、麻酔は経験済みで、小さな虫歯の治療もでき、3ヶ月に一度、定期検診を受けてきたことを説明して、受けてもらえましたが、子どもの状態によっては、また断られていたのではと思いました。しかも、診療時間内に診察時間内に診察を受けているにもかかわらず、初診料が、時間外が加算されていたり、歯の着色、歯ぐきの汚れをとってもらう、定期的な処置なのに歯冠修復及び欠損補綴が請求されているなど、不正なレセプト請求がされていたことが判明しました。
55	障がいのある子どもを病院に連れていく時に嫌な思いをしました。Dr.は嫌ではなく診察を受けたかっただけですが、受付や Dr.のサイドにいる看護師さんが冷たかった、いつも嫌な気持ちで家に帰った。
56	息子を病院に連れて行き、採血の際に、看護師さん達が「この子、大丈夫？ 暴れない？」とヒソヒソ言い合っていました。知的障がいにはありますが、おとなしく座っていたのに体格がいいだけで、医療に携わる方々が、偏見の言葉を口にする事に、残念に思いました。
57	重度の知的障がい者を診てくれる医療機関(耳鼻科等)がない事。診てくれる所があっても遠いので連れていくのも大変。
58	知的障がいのある子ですが中学校時代にインフルエンザの予防注射時の恐怖感がいまだに抱えているのか、病気時には困ります。待ち時間が長くやっとな診察といった時は、診察室に入らず逃げてしまいます。目が腫れ上がったとき〇〇市の緊急医療センターでも同じこと。医師の方に事情を話すと白衣を脱いで待合室で寄り添い診察して頂きました。新型インフルエンザの兆候のときは困りましたが、町のお医者さんが知的障がい者を理解し別の部屋を用意し診察を受け安心してやれやれの思いです。知的障がい者を理解されていない医師とか病院は診察室に連れてこれない子は、診断できないとつれないものです。
59	白内障手術の入院時、看護師にベッド、トイレの以上(移乗?)を依頼したが、断られた。
60	・三障がい同一といいながら精神障がい者は、重度障がい者の医療助成もなく、交通割引運賃もない。 ・現在、精神障がい者に対して交通割引運賃の署名活動をしているのですが、専門職(医師、薬剤師、看護師等)から同意を得られるのが困難な現状に驚いています。
61	病気である本人が家から出られなく診察等にも行けないのでしかたなく、家族が医師に本人の症状を説明して、薬の処方をお願いすると、「障がい年金をもらっているのだから本人が診察にくるのが義務だからと本人にそう言いなさい」と言われ、医師として病気の知識、認識があるのか、とてもショックを受けました。
62	医者にかかったときに本人をぬきにして、介護者とはばかりしゃべっているのだから本人にしゃべるようにして下さい。

63	障がい者の医療がいつまでたっても小児科。差別ではないような・・・でも、待ち合いなど困ります。
64	歯科でのマスクを外してほしい。ろうあ者は口話や表情でコミュニケーションするのでマスクは困る。(医療)
65	胃検診時(バリウムを飲んで調べる)、細かい打ち合わせをしない病院がある。(医療)
66	近くの病院へ健診を申し込んだが、ろうあ者はお断りといわれた。ブラック病院リストを作るべき。(医療)
67	パーキンソン病を発症し、言語障がい・歩行障がいなどのある男性。毎月通院している病院の担当医が変わってから診察をしてもしっかりと内容を聞いてくれない。体調の内容を本人が説明しても途中で話を遮られてしまい、相談することもできない状況。訪問看護の看護師から服薬内容の変更についての手紙を渡しても対応してくれることがなかった。
68	車椅子で病院に行くと、障がいがあることや土足禁止を理由に診療を拒否された。
69	精神障がい者が内科疾患などで状態悪化、在宅生活が困難な状態になり、病院入院受入れを断られた。
70	他区の方より近所の耳鼻科で不随運動があるため診察ができないと言われ、不随運動に理解がある病院を知らないかという電話相談
71	手術が必要な疾患であったが、検査はするが手術はしないと断られた。手術しなければ死亡するような状況であったが、安静の必要性や痛みに対しての自己抑制が難しいであろうとの見解で入院を拒否された。 *この2～3年この他にも何件か入院・手術を拒否されるケースが出ている。その他にも内科疾患や手術が必要な場合に断られることが続いている。
72	盲導犬ユーザーである視覚障がい者が医院を受診しようとしたところ、盲導犬同伴を断られたため、同伴を認めるように話を続けたが、警察を呼ばれた。
73	知的障害の男性から通院先の歯科で治療前に事前説明がないため受診のたびに不安でたまらないという訴えがあった
74	障がい特性により不安が強いことを理由に、日帰りの白内障手術を断られた。他院の紹介状をもらい1週間程度入院、全身麻酔の上で手術が施行された。
75	〇〇市社会福祉協議会から、相談を引き継いだ事例。電動車いすを常用している身体障がい当事者からの相談。近隣の病院に通院した際、病院職員より、電動車いすから病院内の手動の車いすに乗り換えるように言われ、介助が必要にも関わらず、病院職員は手伝わず自身で乗り換えるようと指示を受けたことが納得できない。